

CASBEE[®]新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.2)

1. 建物概要

建物名称 建設地 用途地域 建物用途 竣工年 敷地面積 建築面積 延床面積 階数 構造 評価の段階 評価の実施日	(仮称)SD・G5新潟西黒埼店 新 西区 山田字中道上の東55番外 市街化区域 準工業 物販店, 2012年5月 予定 11,805.00 m ² 4,714.69 m ² 4,604.64 m ² 地上1F S造 実施設計段階評価 2011年10月3日	
---	---	--

2. CASBEE新潟の評価結果

	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{42}{36} = 1.1$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★ B: ★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価アイコン	項目名	コード	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	3.5		バリアフリー	Q2.1.1.3	3.0
			維持管理	Q2.1.3	4.5
			更新性	Q2.3.3	3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	3.1		耐震・免震	Q2.2.1	3.0
			信頼性	Q2.2.4	3.2
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.5		建物の熱負荷抑制	LR1.1	4.0
			自然エネルギー利用	LR1.2	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	3.0		節水	LR2.1.1	4.0
			リサイクル材の使用	LR2.2.4	1.0
			再利用可能性向上	LR2.2.6	4.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	2.0		生物環境の保全・創出	Q3.1	1.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2	3.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	2.0		まちなみ・景観への配慮	Q3.2	2.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1	2.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

- 維持管理・・・環境衛生上良好な状態を維持するために、内装材、外装材の防汚性の配慮を行っている。
- 信頼性・・・通常の配線以外にスポーツデポ独自の配線を使用し、通信手段の多様化を図っている。
- 雨水排水負荷低減・・・指導範囲の抑制対策を行っている。
- 建物の熱負荷抑制・・・外皮に断熱材を施工。
- 節水・・・節水を考慮した器具の使用(節水コマ、エコマーク、グリーン購入法、節水マーク)。
再利用可能性向上・・・空調はパッケージエアコンを用い、仕上げ材と錯綜せず比較的容易に分別が可能。
- 敷地内温熱環境の向上・・・敷地に対する風の通り道を十分に確保している。
- まちなみ・景観への配慮・・・配置や形態、色彩が特に周囲に影響がなく、まちなみに調和するよう配慮を行っている。

CASBEE®新潟

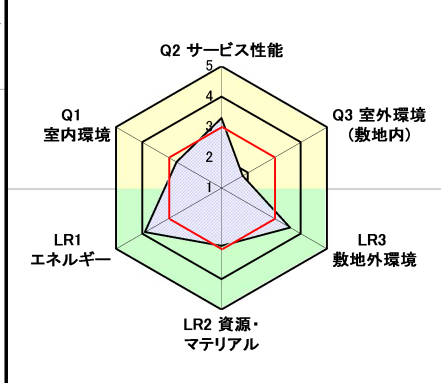
評価結果内訳

■ 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築 (簡易版) 2008年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.2)

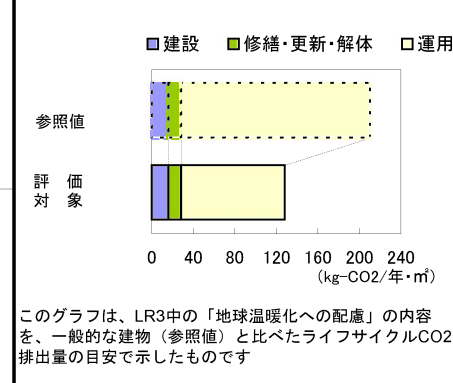
2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)



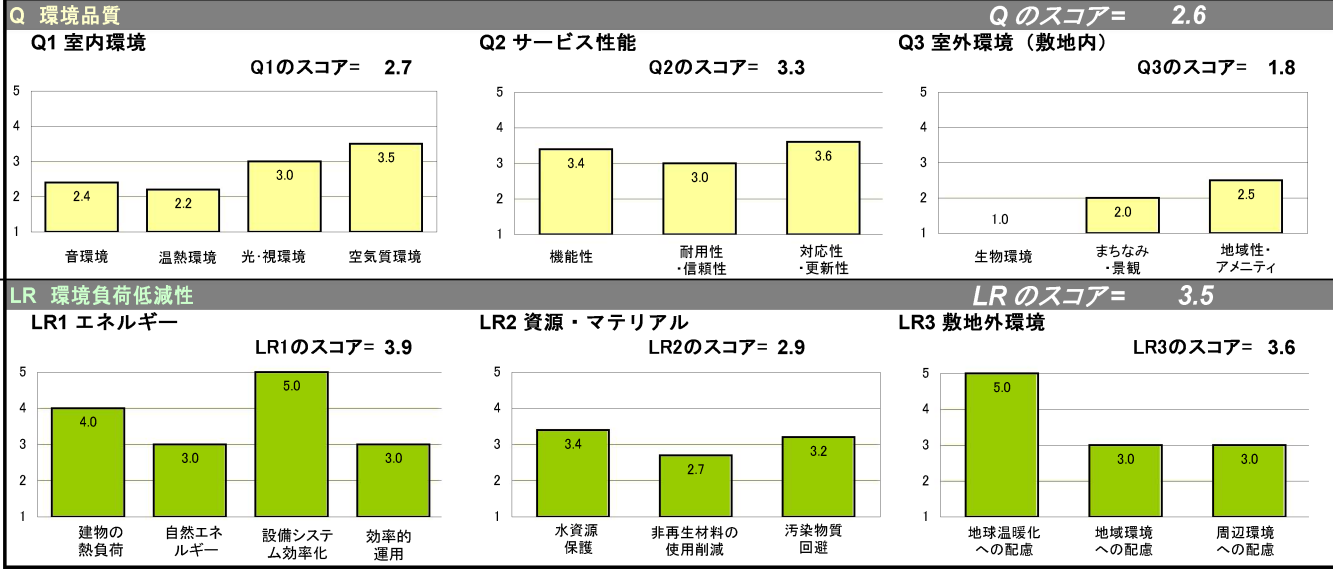
2-2 大項目の評価 (レーダーチャート)



2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-4 中項目の評価 (バーチャート)



2-5 設計上の配慮事項

総合 利用者が常に利用できる駐車場スペースを十分設けている。 建物内は十分に断熱が成されており、年間の冷暖房負荷の軽減を図っている。 設備機器は高効率設備を導入し、省エネルギー性を図っている。	その他
Q1 室内環境 断熱材を屋根、外壁ともに施工し熱負荷の軽減を図っている。 内装材にはF☆☆☆☆を使用し、内部利用者の快適性について配慮している。	Q2 サービス性能 機能性として環境衛生上良好な状態を維持することに配慮している。信頼性として主要な配管は耐用年数が高い材質とし、建物の長寿命化に努めている。
LR1 エネルギー 建物内は十分に断熱が成されており、年間の冷暖房負荷の軽減を図っている。 設備機器は高効率設備を導入し、省エネルギー性を図っている。	LR2 資源・マテリアル 節水型器具、水栓を使用し、水資源保護に努めている。 消火設備についてはハロン消火剤を用いず、フロン・ハロンの使用を避け地球温暖化防止に努めている。
	Q3 室外環境 (敷地内) 配置や形態、色彩が特に周囲に影響がなく、まちなみに調和するよう配慮を行っている。 敷地に対する風の通り道を十分に確保している。
	LR3 敷地外環境 高効率設備を導入することにより、ライフサイクルCO ₂ 排出量を削減している。 十分な駐車スペースを設けている。 外部照明は全てLED照明を採用する事により、消費電力を抑え、メンテナンスのサイクルを長くする事を目的として

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■ LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい